

日本ユング心理学会 (JAJP) 第11回大会  
ワークショップのご案内

本大会においても引き続き、認定心理療法士資格をもつ講師陣による5つのワークショップを、オンラインも併用したハイブリッド形式で開催いたします。臨床心理士の資格更新ポイントとしては、ワークショップとプレコンgresへの参加で2ポイント、大会への参加で2ポイントが取得できます。

今後も当学会資格研修委員会では、心理療法の専門資格としての認定心理療法士の位置づけがさらに明確なものとなるよう、種々の研修機会を提供していきたいと考えていますので、この大会のワークショップにも是非奮ってご参加ください。

資格研修委員長 河合 俊雄

## 1. ワークショップ概要

◆日時 2023年6月3日9:30~12:00

◆会場 オンライン：連合会館（東京都千代田区神田駿河台3-2-11）

オンライン：Zoom

※開催時期の感染状況等により、開催形態が変更となる場合があります。

◆参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会 (JAJP) 会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

参加費	A 4月19日までに 申込の方	B 4月20日~5月22日までに 申込の方
会員	5,000円	6,000円
非会員	7,000円	8,000円
非会員 (大学院生)	6,000円	7,000円

## 2. ワークショップ・コースのご案内

### A 「主訴」が語られるための「場」をどう整えるのか —「入場券」としての「主訴」と「本来の主訴」という視点から—

講師：岩宮恵子（島根大学人間科学部）

内容：心理療法に自主的に訪れる方は、さまざまな症状や問題の解消を目指して来談されることが多い。しかし、来談当初の訴えとその後の面接で問題になってくるものがまったく違ってくることもある。それは心理療法への「入場券」としての「主訴」とは別に、来談当初は意識にはのぼっていなかったものの、語られるのを待っていた「本来の主訴」があるからだと考えられる。この「語られるのを待っていた本来の主訴」が語られるようになるには、どのような「場」が整うとすることが必要なのだろうか。今回は、本来の主訴が語られるようになるとともに、夢やイメージ表現の報告がされるようになった事例の経過を検討しながら、この問題についてフロアのみなさんと考えていきたい。

事例提供：大野晋平氏

### B 箱庭表現・夢に表れる空間について—空間表現と体験—

講師：前川美行（東洋英和女学院大学）

内容：心のモデルが多様化・多元化している現代において、多様化したイメージ表現を理解するためにどのような視点が役立つだろうか。例えば、風景構成法における空間構造の視点は、世界との関係性を理解する手掛かりになり、箱庭療法においても「曼荼羅」表現が転回点に出現しやすいとも言われるように、空間表現への着目は心理状態を理解する手掛かりともなる。ここでは、イメージ表現と身体の方方向性に注目して、イメージ表現に見られる空間表現について考えてみたい。

事例募集：事例を募集します。

### C 子どもの「解離」とプレイセラピー：未分化な混沌、バラバラな世界を考える

講師：田熊友紀子（代官山心理・分析オフィス）

内容：発達早期の子どものこころの世界は未分化な混沌と断片でバラバラな世界に満ちているが、発達・成長の中でまとまりと秩序ある意識世界ができていく。しかし、「不適切な養育環境」の中で育った子どもはしばしば「まとまりのある自分」をはぐくむことができず、「解離」の問題を抱える。本ワークショップでは、心理療法過程において、「解離（分離）」と「愛着関係（結合）」がどのように展開していくのか、白百合女子大学の波多江洋介先生の事例提供のもと、子どもの解離とそのプレイセラピーを考えたい。

事例提供：波多江洋介氏

## D エナンティオドロミア ～こころという自律性について

講師：北口雄一（北口分析プラクシス）

内容：相手の話を聞いて、間違ってると思ったとき、相手を変えたいくなるのは人の心情ですが、心理療法でそれをする、それは操作になり得ます。同じように、たとえ、より適応的、正しいと仮定されていることであっても、何らかの技法を念頭に、それに向けてクライアントを変えようとしているならば、その心理療法には、相手を操作する側面があるということです。ユング心理学では、こころという自律性にコミットします。ある人が変わるとき、変えるのはセラピストやその操作ではなく、こころという自律性です。たとえば、極端なあり方に、その人がエネルギーを注ぎ続けてきたなら、ある地点で逆流も生じ得ます。その自律性に苛まれ、自律性はときに残酷です。今回は、この逆流をテーマにしたいと思います。

事例募集：事例を募集します。操作性や自律性と聞いて、浮かぶ事例がありましたらご応募ください。

## E 妖精と妖怪

講師：山口素子（山口分析プラクシス）

内容：妖精という羽の生えた小さな美しいといったイメージが浮かんでくるが、実際にはいたずら好きなエルフや不気味で意地悪とされるゴブリンなど様々である。日本では主に妖怪と表現されることが多いが、どちらも人間界と異界の間領域に存在するものであり、心理療法におけるイメージにもよく登場する。今回は西洋における妖精と日本の妖怪を比較検討したい。また後半では、「赤毛のアンにおける妖精」という話題を提供してもらい、併せて検討したい。

話題提供：原田久仁美氏

## 3. ワークショップの参加申し込み手続き

1. 当学会ホームページ (<http://www.jajp-jung.info/conference.html>) 及び、右記 QR コードの申込フォームよりお申し込みください。Web 申込が完了しましたら自動返信メールが送信されます。

\* 申込フォームは、パソコン・スマートフォン対応しております。

参加申込フォーム



2. 自動返信メールの内容をご確認の上、下記口座まで参加費をご納入ください。

【振込先】

<ゆうちょ銀行から振り込まれる場合>

口座：00980-2-195483

加入者名：日本ユング心理学会年次大会

(ホニウグシツカガキイヅグタイ)

<他金融機関から振り込まれる場合>

銀行名：ゆうちょ銀行 店番：099

預金種目：当座

店名：〇九九店（ぜろきゅうきゅう店）

口座番号：0195483

3. 振り込み期限

A 2023年4月19日までにお申込みの方…2023年4月21日（金）まで

B 2023年4月20日～5月23日にお申込みの方…2023年5月24日（水）まで

4. 秘密保持に関する誓約書の提出

参加申込後に誓約書フォームへの入力画面に自動的に移動します。内容を確認のうえ必要事項にご記入ください。参加申込時に提出できなかった場合は、自動返信メール内に記載されている URL または右記の QR コードより入力フォームにアクセスし提出をお願いします。

誓約書提出フォーム



5. その他（注意事項等）

\* 申込後、参加費の納入と秘密保持に関する誓約書の提出をもって参加予約の完了とみなします。

\* outlook・hotmail・msn 宛でのメールが届けられない事象が発生しております。

登録いただくメールアドレスは、事務局のアドレスの【受信許可登録】を行っていただくか、上記ドメイン以外のアドレスをご使用ください。

\* 24時間以内に自動返信メールが届かない場合は、日本ユング心理学会事務局 ([office@jajp-jung.info](mailto:office@jajp-jung.info)) までご連絡ください。

\* 参加費は、必ず参加者ご本人の名義でお手続きください。

\* 本ワークショップと同日午後のプレコンgres両方の参加をもって1日の研修と見なし、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修規程別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通りポイントが付与されます。参加証は、研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。

\*参加証・領収書について

・オンサイト

当日受付時にお渡しします。

・オンライン

大会終了後にメールにて送付いたします。

参加証は、終了後に参加ログにて出席確認を行い、参加が認められた方のみ送付いたします。送付までにお時間を頂戴いたしますので、ご了承ください。なお、終了後1ヵ月を過ぎても届かない場合は、事務局までお問い合わせください。

\*プレングレスの内容がご覧になれる大会第一号通信は、当学会ホームページに掲載していますので、非会員・大学院生の方はそちらも併せてご参照ください。

\*新型コロナウイルスの感染が確認された場合、保健所等の公的機関から求めに応じて参加者の情報をお伝えする場合があります。

## 4. ワークショップ事例発表

ワークショップにて事例発表を希望される方は、以下の要領で申し込んでください。

1. 発表資格は、ワークショップ参加資格に準じます。
2. 申込フォームから事例発表を募集しているコースを選択し、お申し込みください。
3. 申し込み期限：2023年3月8日（水）
4. ワークショップ事例発表の採否についてのご連絡は、2023年3月下旬頃を予定しています。
5. その他（注意事項等）
  - ・ 事例発表者は原則オンサイトでの参加となります。
  - ・ 発表は ZOOM を使用し、WEB カメラをオンにした状態でおこなっていただきます。
  - ・ 資料の画面共有などの操作は、原則発表者自身でおこなっていただきます。
  - ・ 発表に使用するパソコン等のデバイスをご持参ください。（有線 LAN 接続または Wi-Fi 接続環境をご用意しております。）
  - ・ 発表に際して使用できる映像機器は、液晶プロジェクターのみです。接続は、デジタル出力（HDMI）を予定しております。  
※mac をご使用の方は、コネクタもご持参ください。
  - ・ オンライン参加者への資料配布は事務局より GoogleDrive にて行います。  
（ダウンロード・印刷・コピー&ペースト禁止制限のうえ、インターネット上で閲覧可能）  
※レジュメ（Word 等の文字資料）がある場合は、画面共有のみでは画質や画面の大きさ等によって閲覧に支障がありますので、参加者に配布させていただきます。

お問い合わせ：日本ユング心理学会（JAJP）事務局 office@jajp-jung.info